



## あいちの学童保育

県連協ニュースNo.7号  
2018年11月6日発行  
愛知学童保育連絡協議会  
TEL:052-872-1972 FAX:052-308-3324  
Email:aichigakudou@gakudou.biz  
http://gakudou.me/aichikenrenkyou/

### 基準を守り 学童保育の発展を！

2015年度からの「子ども・子育て支援新制度」のもと、児童福祉法が改正され、対象児童は「おおむね10歳」から「小学生」となりました。厚生労働省は、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」や「放課後児童クラブ運営指針」を示し、学童保育指導員の資格制度の創設や処遇の改善、児童1人あたりの面積基準や学童保育指導員の配置基準など、学童保育は全国的に一定の水準を保つことになりました。まだまだ改善や拡充が必要な面は多々ありますが、これまでの運動の成果とすることができます。

しかしながら、2017年12月、「第31回地方分権改革有識者会議・第68回提案募集検討専門部会合同会議」において、「放課後児童クラブの従うべき基準の参酌化」が検討され、「地方分権の場において検討し、平成30年度中に結論を得る」と閣議決定されました。人手不足の解消を名目に、「放課後児童支援員」として定めた学童保育指導員の資格要件を引き下げ（規制緩和ともいう）をねらっており、学童保育指導員の専門性や子どもたちの安全や生活保障を軽視していると言わざるを得ません。

こうした国の動きに反対していくために、愛知県連協としては、全国各地の都道府県連協とも共同して、秋の自治体キャラバンを通じて、都道府県議会や市町村議会からも国に対して意見してもらうために、「国に対して『学童保育の職員配置基準等の堅持を求める意見書』の提出を求める陳情書」を提出しています。

これまでの運動の歴史とこれからの運動の成果によって、学童保育の施策をさらに拡充させていかなければならないときに、人手不足を解消するという目先の問題解決のために、「従うべき基準」を「参酌化」するのではなく、現状の「放課後児童支援員等処遇改善事業」を各市町村がきちんと予算化し、学童保育指導員の処遇を改善するとともに常勤職員を複数配置することで、学童保育指導員の質が確保されます。真に目指すべき方向性はこちらなのです。

国の動向を注視しながら、学童保育の現場から議会や行政に働きかけていくことは、今まさに必要なときとなっています。



県連協では来年1月に厚生労働省の学童保育施策学習会を開催します。しっかり学び、今後の取り組みにつなげましょう。

\*厚生労働省への質問はあらかじめ受け付けます。県連協までお知

らしてください。

### 【厚生労働省の学童保育施策学習会】

日時：2019年1月20日（日）14時00分～16時15分  
（受付13時30分～）

場所：日本福祉大学 東海キャンパス

（愛知県東海市大田町川南新田229番地）

（愛知県東海市大田町川南新田229番地）

名鉄太田川駅から徒歩5分

（公共交通機関をご利用ください）

定員：先着180名\*（申込み制・お申込み順）

### 愛知県の学童保育実施状況 ～基礎数まとめ

愛知県連協では、全国学童保育連絡協議会に協力して2018年5月1日付の学童保育実施状況調査を行い、県内54市町村の担当課から回答をいただきました。

①箇所数 学童保育数は28増えて1,117箇所、支援の単位数は104増えて1,518箇所となっています。新設より、既存の学童保育所の中で「支援の単位」を分けることによって増えているケースが圧倒的に多いわけですが、どのような形態で分けているのか気になります。

②規模 1,518箇所は何人の子どもが入所しているのか聞きました。最も多いのは20-30人で381箇所、昨年度比68箇所増です。最も増えているのは36-40人規模で、74箇所増・258箇所です。70人以上の大規模もまだ39箇所残っています。残り一年で全ての学童保育を概ね40人の規模にすることを考えれば、41人以上の規模が353箇所残っていることも気になります。

③子どもの数 入所数は55,838人。県内の小学生数416,158人の内13%です。保育所に通う子どもは就学前のほぼ5割（厚生労働省試算）とされている中で、就学したらみんな学童保育、とはなっていない実態です。「小1の壁」は愛知県内ではまだまだ高く立ちはだかっています。

④運営主体 1,518箇所の内、公営が649箇所。公営が多いと言われてきた愛知県ですが、既に過半数は民営となっています。民営の内訳で多いのは法人系です。NPO法人が132、民間企業が90、その他法人が222。増加数の大きいのは民間企業で41箇所、運営形態は90%が委託となっています。

⑤開設場所 学校利用の学童保育が721箇所です。全体のほぼ半数です。増加数が大きいのは余裕教室78箇所と校舎内専用施設66箇所です。「放課後子ども総合プラン」の影響でしょうか。

①待機児童数 昨年の964人から772人に減少しています。待機児童の多い地域は偏在しています。ただ学童保育の待機児童は自治体によってその定義が違うこともあり、児童数が減った＝必要とする子どもが入りやすくなった、と言い切れないところがあります。

今年度も各市町村には、この実施状況調査に加えて詳細調査にご協力いただいています。役員会ではこれらの回答を「あいちの学童保育情報ハンドブック2018」にまとめています。発行まで、しばらくお待ちください。

# 全国研in神奈川を ふりかえって

全国学童保育研究集会に参加された皆さん、お疲れさまでした。愛知で取り組んでいる全国研プロジェクトチームからの報告をお届けします。



10月20～21日に毎年開催される全国学童保育研究集会が神奈川県で行われ、全国から4,377名、愛知からは218名の参加がありました。

恒例の子どもたちの活気ある歓迎行事から始まり、増山均さんの記念講演で1日目は終了。

夜には、いわき・愛知の交流会を行いました。

42名の参加のうち、いわきからは14名の方に来ていただきました。復興の話、学童保育の話などをして盛り上がりました。



2日目はそれぞれ勉強したい分科会に参加をして勉強してきました。他県の学童保育の情勢や環境の違いなどを聞くことができました。しかし保育の奥深さ、子どもたちに対する思いはどこで働いていても同じだと実感することができました。

とても充実した2日間となりました。

(全国研PT 名古屋市守山区指導員 丹羽まゆみ)



全国研に参加する目的はたくさん学び、たくさん交流する。その魅力を皆さんにお伝えするのが全国研プロジェクトチームの役割だと思っています。

2018年度の活動内容は2月より月1回会議を行い、全国研ニュースの発行(1号～8号)、各地域でのPR活動、宿泊ホテルの手配(宿泊ホテル4ヶ所 125室)、現地下見、福島・あいち交流会を行いました。今年は新たなメンバーも加わりそれぞれが何か役割を持ち和気あいあい楽しく取組めたと思います。

今年度の参加目標は昨年度より各地域で1人増やし280人と設定しましたが、今回の参加者は218人という結果となりました。来年は京都、愛知から近い場所です。今一度全国学童保育研究集会の魅力地域に伝え、参加の呼びかけを行い沢山の方が参加できる全国研を目指したいと思っています。

来年度も我々と一緒に全国研を盛り上げていくメンバーを募集していますので興味のある方はお手伝いよろしくお願い致します。

2018年度全国研PTリーダー 渡邊(愛知県連協役員・津島市OB)



僕は初めて全国PTに入って、最初何をしてるのか全くわかりませんでした。少しずつ色々な形で協力させていただきました。とてもいい経験になりました。色々な愛知の指導員さんとも会議を交えて交流ができてよかったです。



【交流会での初司会】↑

当日の交流会では全く知らない人たちと意見を交わし、今の現状やこういう事で悩んでいるなど、みんな悩みつつ、頑張っているんだなと思い、自分ももっと頑張ろうと思いました。やっぱり学童の指導員は子どものことを本当に大切に思っているし、子どもが楽しそうにしている姿が見られれば嬉しいと言うのはみんな一緒なのだなと思いました。全国研の分科会はたくさんの方の意見や、現状などが聞けて、こうしたほうがいいのか色々教えてもらえることがあるので今年も全国研に行ってきたと思いました。ぜひ来年は行ってみてください！ありがとうございました！

(全国研PT 津島市指導員 松田 英明)



来年の全国研は10月19日～20日の日程で京都で開催されます！多くの参加で盛り上げましょう！



## 「日本の学童ほいく」 オススメ記事♪



2018年 10月号

P. 64～P. 65【出会い集い父母会

「子どもたちの居場所を求めてー第二学童クラブ開設までの動き」】

一般社団法人運営の学童保育。ようやく学区内に学童保育所が立ち上がったと思ったら定員をはるかにオーバーしていて希望者全員を受け入れられない、市の子ども・子育て支援事業計画ではさらなる開設を予定していない、3ヶ月後には新年度がスタートする…。

沖縄の船越クラブの保護者たちは驚くべきスピードでこの難題に取り組みます。

さあ、みなさんの学童保育がこんな窮地に立たされたらどうしますか？いま、同じ問題に直面してる！」という方も多くいらっしゃるのでは。

皆で力を合わせれば議会を動かし行政を動かし、新たな学童保育所をつくったという船越児童クラブのお話は現実であり得るのだと励みになるのではないのでしょうか。

定期的開催された自主的な勉強会もヒントになると思います。学童保育をあらためて知る中で、自分たちがやるべきことを見いだす。それは子どもや子育てと向き合うことでもあります。以前、名古屋の高見学童保育所でもワークショップを行ったことが紹介されていましたが、こういった取り組みも大切ですよ。ぜひ読んでみてください。

(名古屋市 保護者OB)